

船舶事故等調査報告書

平成26年8月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第73号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成26年3月28日 16時25分ごろ
発生場所	香川県土庄町土庄港の吉ヶ浦3号物揚場岸壁 土庄町所在の王子前港A防波堤灯台から真方位308° 1,700m付近 （概位 北緯34° 29.3′ 東経134° 10.6′）
事故等調査の経過	平成26年5月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	油タンカー 妙宝丸、199トン
船舶番号、船舶所有者等	134910、大盛海運有限公司
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 右舷船首部外板に凹損 岸壁 なし
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、空船で船首約0.8m、船尾約2.8mの喫水により、土庄港の吉ヶ浦3号物揚場岸壁（以下「本件岸壁」という。）に右舷着けするため、船長が、着岸予定地点の係船ビットの位置を見ながら、機関を中立として惰力で前進したが、風潮流を受けて本件岸壁に接近していたところ、平成26年3月28日16時25分ごろ本船の右舷船首部が本件岸壁に衝突した。 船長は、着岸作業を続け、着岸後に損傷を確認した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 4 海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約64cm
その他の事項	本件岸壁は、約210mの長さであり、本事故当時、東端と西端にそれぞれ1隻ずつ他船が係留されており、本船は、本件岸壁中央部の約50mの所に係留する予定であった。 本船の全長は、約41mであった。 本船は、本件岸壁を基地としており、船長は、本件岸壁への着岸経験が豊富であった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、土庄港の本件岸壁に着岸作業中、風潮流に圧流されたこと

	から、本件岸壁と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、土庄港の本件岸壁に着岸作業中、風潮流に圧流されたため、本件岸壁と衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・着岸時には、風潮流等を考慮した操船を行うこと。